

クローバー

「看護方式(看護ケア提供方式ともいう)」という言葉をご存じですか?病棟では、24時間切れ目なく入院している患者さんを看護しています。そのためには、病棟ごとに組織化していなければなりません。看護方式とは、組織化のしくみのことです。代表的な8つの看護方式を紹介します。

最初は、「①機能別看護方式」です。第2次世界大戦で敗戦した日本にGHQ公衆衛生福祉部看護課の指導により「完全看護制度」が導入されました。GHQが入るまでは、病院の看護婦たちは医師の診療の補助業務だけを行っていました。入院患者さんのケアは、ご家族か患者さんが雇った付添看護婦に任されていました。GHQの強い指導力のもとで変わりましたが、看護婦の数が極端に少ないので、合理性を考慮して注射係、身体を拭く係、ガーゼ交換係などと担当を決めて割り振られた業務に専念していました。時代・人口構成・医療の変化とともに看護方式も変化しました。

1960年代からは「②チーム・ナーシング」です。看護婦・准看護婦・看護補助者でチームになり、チームリーダーの指揮下で動く組織を作りました。続いて「③固定チーム・ナーシング」です。チームを小さくして一定期間固定した職員が固定した患者グループに対応する組織です。次は「④受け持ち看護方式」です。1人の看護婦が一定数の患者さんを受け持ち、勤務時間内の看護業務のすべてを担当しました。

1970年代に「⑤プライマリー・ナーシング」が出てきました。1人の患者さんを1人の看護婦が入院から退院まで受け持ち、看護の計画を立てて実施し、評価していく方法です。プライマリー・ナーシングの短所をカバーするために「⑥モジュラー・ナーシング」が誕生しました。プライマリー・ナーシングの要素をチーム・ナーシングの形で実践する方法です。2009年には福井大学医学部附属病院

の看護部で「⑦パートナーシップ・ナーシング・システム®(PNS®)」が開発されました。2人の看護師*1がパートナーとしてチームを構成し、補完し協力し合って同じ患者さんを受け持ちます。

2013年に福岡県飯塚市の飯塚病院の看護部で「⑧セル看護提供方式®」が開発されました。製造業の生産方式の考え方を枠組みとしています。「セル生産方式」は、ラインによる流れ作業ではなく、1名から数名の作業員で製品の組み立てを行います。作業員の待ち時間を排除する事で生産性の向上を目指しています。セル看護提供方式®は、看護業務の流れから『動線、記録、配置』のムダを洗い出して省き、基本となるタイムスケジュールを作成します。師長以外の看護師はほぼスタッフステーションに戻らず、病室の患者さんの側で仕事をする方式です。

当院では、2007年から「固定チーム・ナーシング」+「受け持ち看護方式」で実践してきました。今年度から「セル看護提供方式®」の導入に向けて活動しています。‘忙しく大変’とは、どこの病院の看護職・介護職も言います。師長会議で『患者・家族が大切にされていると感じてもらえる看護・介護』をしていきたいと話合いました。その為には、ムダを省き効率的な看護方式にギアチェンジする必要があります。時代と共に変わっていくやり方で芯の大切な部分を変えないで取り組んでいます。

*1 2002年に「看護婦」から「看護師」に名称が変わりました。女性しかいなかった看護界に男性が入り、性別で「看護婦と看護師」に区別していました。それが「看護師」に統一されました。



看護部長
認定看護管理者
たなか せつこ
田中 節子

第7回親子脳卒中教室をオンライン開催しました！

「第7回親子脳卒中教室」をオンライン開催しました。

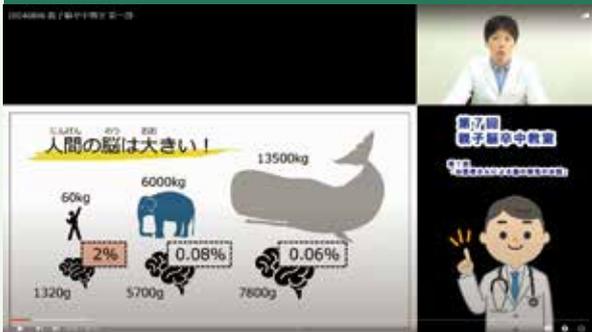
今回は、小学4年生～6年生の児童と中学生とその保護者、一般の方も対象とし、昨年を上回る204人の方にご参加いただき大好評におわりました。

全3部構成とし、事前収録した講義、寸劇、病院案内をYouTubeで配信しました。

申込時に募集した脳卒中に関する質問にお答えするコーナーを設け、山本病院長が回答しました。

次回も子どもから大人まで楽しく脳卒中について学べる教室を企画いたしますので是非ご参加ください。

第1部 金沢大学脳神経外科 高田 翔 先生 「お医者さんによる脳の病気のお話」



第3部 「病院をもっと知ろう!院内ツアー体験」



第2部 お医者さんたちの劇「脳卒中からのサイン」



視聴後にたくさんのコメントをいただきました！

難しくてなかなか自分でわからない事でもお医者さんのお話を聞いてよくわかったので、よかったです。(小4)

話だけでなく、劇などもありすごくわかりやすかったです。子供も楽しんで見ていました。

毎日通る道沿いの病院ですが、これまでは遠い存在でした。今回の教室を通して、病院でどんなことをしているのかを親子で知ることができ、身近に感じることができました。自分達の生活を全力で支えてくれている人がいることを知る、一つのよい機会になったと思います。ありがとうございました。

子供達に119通報の仕方を教えました。

病気の怖さがわかって気をつけたと思いました。

3つ目の動画では、難しそうな機械がいっぱいあって操作が大変そうでした。でも、その結果が脳卒中を治すのに必要なものだとなりました。

とても分かりやすい内容で親子共々、楽しんで見させていただきました。ありがとうございました😊

子供に分かりやすく説明して下さり、面白かったです。子供が一人で119出来るか不安ですが、万が一のことを考える良い機会になりました。

私は、脳卒中について今回初めて知りました。種類が3つもあってびっくりしました。頭を開いてクリップで止めるなんてちょっと怖いと思いましたが、それで病気が治るので凄いいと思いました。



連携登録医のご紹介

医療連携とは

地域の医療機関と金沢脳神経外科病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の連携を目指し開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

今回は、白山市専福寺町の「下崎整形外科医院」をご紹介します。

理事長 下崎 英二先生、 院長 下崎 真吾先生

当院は、1996年4月に白山市専福寺町で開業しました。19床の有床診療所であり、整形外科疾患全般を診断治療しておりますが、なかでも関節外科、スポーツ整形外科に力をいれ、膝関節、股関節、肩関節などの人工関節置換術、関節鏡視下手術、靭帯再建術等の手術を行い、診断、入院、手術、リハビリテーションをワンストップで行っています。特に、人工関節置換術につきましては約20年間コンピューターナビゲーションシステムを用いて正確な手術を心がけてきました。また、2022年からは県内で初となるMakoロボットを新たに導入し、より正確で低侵襲な人工関節手術を行っています。医療技術の大切なことはもちろんですが、当院の医療理念は「医は仁術なり」であり、安心安全で心のこもった医療の提供を心がけております。

金沢脳神経外科病院とは専福寺通りの並びに位置して、平素より緊密な関係にあります。入院や外来の患者さまで脳神経疾患の方がおられますと、いつでも迅速に対応していただき、大変感謝しております。

整形外科疾患でお困りのことがありましたら、気軽にご相談いただければ幸いです。



取材スタッフより

整形疾患において地域からの信頼が厚い先生方です。先生方をはじめスタッフの皆さんもあたたかいクリニックです😊



院長 下崎 真吾先生、理事長 下崎 英二先生

下崎 英二先生

【所属学会・認定医など】医学博士・日本整形外科学会専門医・日本整形外科学会スポーツ認定医・日本整形外科学会リウマチ認定医・日本人工関節学会認定医

【略歴】昭和55年 金沢大学医学部 卒業
金沢大学整形外科 入局
昭和63年 カナダ留学
平成2年 金沢大学整形外科 講師
平成3年 金沢大学整形外科 医局長
平成8年4月 下崎整形外科医院 開院
平成9年7月 医療法人社団下崎整形外科医院 開設

下崎 真吾先生

【所属学会・認定医など】医学博士・日本整形外科学会専門医・日本整形外科学会肩関節学会・日本人工関節学会

【略歴】平成21年 金沢大学整形外科
平成27年 公立南砺中央病院整形外科
平成31年 金沢赤十字病院整形外科
令和元年10月 医療法人社団下崎整形外科医院 院長就任

【診療科】整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

【住所】白山市専福寺町158-3

【電話】076-274-5000

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	/	○	○	/
14:00-18:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日：土曜午後、木曜・日曜・祝日



救急症例検討会を開催しました。

11月14日、令和6年度救急症例検討会をハイブリッド開催しました。
2名の救急隊員の方にご発表いただきました。

- 症例① 白山野々市広域消防本部 野々市消防署 「就寝中にめまい出現し、小脳梗塞と診断された症例」
症例② 白山野々市広域消防本部 松任消防署 「突然の意識障害で、脳梗塞と診断された症例」

事前にいただいた質問のほか、参加された救急隊員からの質問に、担当医師よりご説明させていただきました。症例検討のほか、旭医師によるミニレクチャー「てんかんについて」や、救急隊と当院職員の情報交換会も行い、救急隊からは、今年度より開始した「機動救急」の紹介がありました。

ご参加いただいた救急隊員の皆様、ありがとうございました。



頭痛教室 in 金沢を開催しました。

10月12日(土)、地場産業振興センターにて「頭痛教室 in 金沢」を社会医療法人寿会 富永病院と共同開催しました。約70名の一般の方にご参加いただき、頭痛に悩む方が非常に多いことを改めて実感しました。

この頭痛教室は、日本頭痛協会の取り組みとして昨年からは一般の方向けに実施しており、今回で2回目の開催です。昨年は大分県で開催され、今年は金沢で開催しました。頭痛専門医や頭痛外来の看護師が、片頭痛をはじめとする一次性頭痛の症状や治療法、また頭痛専門外来の詳細についてわかりやすく説明しました。

慢性的な頭痛に悩む方は多いですが、診察を受けても「ただの頭痛」と診断され、鎮痛薬だけを処方されて終わってしまうことが少なくありません。慢性的な頭痛は命に関わることはありませんが、日常生活や仕事に大きな支障をきたします。

もし慢性的な頭痛にお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ専門外来を受診してみてください。

金沢脳神経外科病院 頭痛専門外来の詳細はこちら

金沢脳神経外科病院 頭痛外来

検索



頭痛をあきらめず、適切な治療法を一緒に見つけていきましょう!!



担当医 旭

病院
理念

私たちは脳神経外科医療の専門家として十分な医療を提供し社会に貢献します。



医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2
TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914
<https://www.nouge.net>

金沢脳神経外科病院 広報誌 第92号 発行:広報委員会
2024年12月23日発行